

## 第2回 国語科の課題への取り組みについて

2ページから4ページまでは、前回の課題の解答例等になりますので、自分が学習した内容と照らし合わせ、確認してみてください。

今回の課題は、5ページからです。今回は、プリントを使って取り組むことになります。プリントは、本日(5月21日)配布しましたので、活用してください。なお、今回の課題の解答の確認については、学校再開後に授業で行います。

それでは、43期生の皆さんの頑張りに期待しています。

国語科 伊藤剛志

# 前回の課題の解答

里中家庭学習サポートシート

3 学年 国語

No. 1

◎場面設定と指言葉の意味を確認しよう。

## Step 2

場面設定を確認する。

①本文を読みながら、場面目～目の空欄に当てはまる漢字二字を考え、記入する。

②それぞれの空欄のヒントは以下の通り。

目…「さ」から始まる漢字二字 → **再会**

目…「か」から始まる漢字二字 → **会話**

目…「し」から始まる漢字二字 → **死後**

## Step 3

P 2 3・2 4にある、ルロイ修道士の「両手の人差し指をせわしく交差させ打ちつける」動作に込められた想いの違いを考える。

①同じ指言葉だが、込められている想いが異なることを確認し、ノートに記入する。

P 2 3

→**悪いことをした子どもたちに腹を立てる想い。等**

P 2 4

→**私をからかおうとする想い。等**

里中家庭学習サポートシート

3 学年 国語

No. 2

◎文末にある「わたし」の指言葉に込められた気持ちについて考えよう。

## Step 2

文末の「わたし」の指言葉に込められた怒りはどこに向けられたものなのか考える。

①「わたし」の怒りの対象について考える。

②考えをまとめて、ノートに記入する。

③できれば、3つの対象を考えて、ノートにまとめる。

対象1 **ルロイ修道士の命を奪った病気(悪い腫瘍)。**

対象2 **何もできなかった自分自身。**

対象3 **本当のことを言ってくれなかったルロイ修道士。**

その他 **ルロイ修道士が死ななければならない運命。**

**ルロイ修道士を助けてくれなかった神様。等**

## ◎ルロイ氏の発言に注目し、人物像に迫ろう。

## Step 2

ルロイ修道士の人柄がよく表れている発言を探す。

- ①本文を読みながら、ルロイ氏の人物像が表れている発言を探し、教科書に線を引く。
- ②線を引いた発言を、ノートに書き写す。

## Step 3

発言をもとにし、ルロイ修道士の人物像をまとめる。

- ①「～人。」という形式になるように、ルロイ修道士の人物像を考え、ノートに記入する。

**ルロイ氏の発言をもとに、ルロイ氏の人物像(ルロイ氏はどんな人か)について、自分の意見がしっかり書けていればOKです。**

## ◎作品の主題をとらえよう。

## Step 2

作品の主題をとらえる。

- ①本文を読み、主題について考える。
- ②整理し、ノートに記入する。

※書き方の例

私は、この作品の主題は、〇〇だと考えます。なぜなら、△△からです。以上から、この作品は、読者に□□を伝えようとしたものだと思います。(＋感想)

**作品の主題とは、「この作品を通じて、作者が読者に伝えたかったこと」です。「握手」という作品を通じて、井上ひさしさんは、皆さんにどのようなことを伝えたかったのでしょうか。自分なりの考えを書いてみましょう。**

## ◎ 論語の基礎知識を確認しよう。

## Step 1

論語の暗唱練習をする。

①配布済みの暗唱練習プリントを活用し、声に出して、論語を読む。

②暗唱できるように、何度も練習する。

※暗唱練習プリントは、シートの最後に追加資料として付けてあるので、手元がない場合は、そちらを使う。

**これまで暗唱に取り組んできましたが、古典は声に出して読み、そのリズムに親しむことが非常に重要です。ぜひチャレンジしてくださいね。**

## ◎ 論語の内容をもとに、「学」と「思」、どちらが重要か考えよう。

## Step 2

資料のワークシートに沿い、「学」と「思」、どちらが重要か考える。

①例を参考にし、「学」と「思」のどちらが重要か考える。

例 A君は、サッカー部に所属している。とても練習熱心だ。だが、自分で考えた練習方法にこだわりすぎて、監督や仲間からのアドバイスを受け入れることができない。その結果、なかなか上達できずにいる。

だから「学ぶこと」が重要だと言える。

例 テストのために、日本史の年号を必死に覚えた。「710年、平城京」などである。しかし、年号を覚えてだけで、平城京とは何か、なぜそれが起こったのか、その前後での変化は何か、関わった人物が誰かなどについては、一切理解することができていなかった。そのため、結局は、その知識はまったく活用ができず、テストが終わってからは、意味のないものとなってしまった。

だから「思うこと」が重要だと言える。

②意見をまとめ、ワークシートに記入する。(ワークシートの印刷が難しければ、ノートに記入する。) ※自分の立場・根拠(体験含む)を必ず記入する。

**「論語」の内容をもとに、根拠や体験と併せて、自分の意見がしっかり書けていればOKです。**

# 今回の課題

里中家庭学習サポートシート

3 学年 国語

No. 7

☆ 熟語の理解を深めよう

## 1 深まる学びへ 漢字 1 熟語の読み方

◎熟語の読み方を確認しよう。

### Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」に取り組む。

① P 1 6 - 1 7 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

### Step 1

漢字の音読みと訓読みを確認する。

①資料 1 のプリントの①に取り組む。(プリントを紛失した場合は、ノートに記入する。)

②漢字の音読みと訓読みについて、確認する。

### Step 2

家の中にあるもので音 + 音・訓 + 訓になっている熟語を探す。

①家の中にあるもので、音 + 音・訓 + 訓になっている熟語を探す。

②見つけたら、資料 1 のプリントの②に 3 つずつ記入する。

### Step 3

重箱読み・湯桶読み・熟字訓について整理する。

①教科書 P 4 1 ~ 4 2 を読む。

②資料 1 のプリントの③に取り組む、重箱読み・湯桶読み・熟字訓について整理する。

### Step 4

問題に取り組む、理解を深める。

①資料 1 のプリントの④（教科書 P 4 2 の練習問題とほぼ同一）に取り組む。

②読みが分からなければ、辞書などを活用して、自分で調べる。

☆熟語の理解を深めよう。

熟語の読み方

◎熟語の読み方を確認しよう。

① 次の漢字の音読みと訓読みを書こう。(音読み:カタカナ・訓読み:ひらがな)

住 (音読み: / 訓読み: )  
外 (音読み: / 訓読み: )

② 家の中にあるもの(貼ってあるものも可)で、音読み+音読み・訓読み+訓読みになっている熟語を三つずつ探そう。

音読み+音読み

訓読み+訓読み

③ 教科書P41～42を読み、じゅうばい重箱読み・ゆとう湯桶読み・じゅくじゅん熟字訓についてまとめよう。

重箱読み 上の漢字を ( )、下の漢字を ( ) で読むこと。

湯桶読み 上の漢字を ( )、下の漢字を ( ) で読むこと。

熟字訓 漢字一字に読むのではなく、いっしゆ一しゆの ( )、じゅんじゆん ( )、じゅんじゆん ( ) の読み方をするもの。

④ 練習問題に取り組もう。

1 次の熟語の読みと、A音音・B訓訓・C重箱・D湯桶・E熟字訓かを答えよう。

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| ① 峡谷 ( ) | ② 干潟 ( ) | ③ 喪中 ( ) |
| ④ 反物 ( ) | ⑤ 浅瀬 ( ) | ⑥ 錦絵 ( ) |
| ⑦ 純粋 ( ) | ⑧ 謁見 ( ) | ⑨ 繭玉 ( ) |
| ⑩ 錠前 ( ) | ⑪ 治療 ( ) | ⑫ 碁石 ( ) |

2 次のアは音で、イは熟字訓で読もう。

- |           |         |           |         |
|-----------|---------|-----------|---------|
| ① ア甲乙 ( ) | イ乙女 ( ) | ② ア崩壊 ( ) | イ雪崩 ( ) |
| ① ア撲滅 ( ) | イ相撲 ( ) | ① ア硫酸 ( ) | イ硫黄 ( ) |

## ☆ 熟語の理解を深めよう

## 1 深まる学びへ 漢字 1 熟語の読み方

◎問題に取り組み、さらに理解を深めよう。

## Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

① P 1 8 – 1 9 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

## Step 1

問題に取り組む。

①資料 2 のプリントの問題に取り組む。(プリントを紛失した場合は、ノートに記入する。)

②分からないところは、辞書等を活用して調べて記入する。

## Step 2

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

① P 2 3 – 2 4 「熟語の読み方」の内容については、すべて取り組めると思うので、しっかり記入しておく。

②解答・解説を参考にし、○付けもやっておく。

☆熟語の理解を深めよう。

熟語の読み方

◎問題に取り組み、さらに理解を深めよう。

① 次の熟語の中から、重箱読みをする熟語を選びなさい。

肩身 旅路 着陸 凶星 外堀 朝食 茶釜 整頓 本棚

② 次の熟語の中から、湯桶読みをする熟語を選びなさい。

赤字 枕元 頒布 街角 席順 両脇 夕刊 足元 野宿

③ 次の熟語を熟字訓で読みなさい。

明日 小豆 海女・海士 硫黄 意気地 田舎 息吹 海原 乳母 浮気 笑顔 叔父・伯父  
大人 乙女 叔母・伯母 お巡りさん お神酒 母屋・母家 母さん 神楽 河岸 鍛冶  
風邪 固唾 仮名 蚊帳 為替 河原・川原 昨日 今日 果物 玄人 今朝 心地 居士  
今年 早乙女 雑魚 棧敷 差し支える 五月 早苗 五月雨 時雨 尻尾 竹刀 老舗 芝生  
清水 三味線 砂利 数珠 上手 白髪 素人 師走 数寄屋・数奇屋 相撲 草履 山車  
太刀 立ち退く 七夕 稚児 一日 築山 梅雨 凸凹 手伝う 伝馬船 投網 父さん  
十重二十重 読経 時計 友達 仲人 名残 雪崩 兄さん 姉さん 野良 祝詞 博士  
二十・二十歳 二十日 波止場 一人 日和 二人 二日 吹雪 下手 部屋 迷子 真面目  
真っ赤 真っ青 土産 息子 眼鏡 猛者 紅葉 木綿 最寄り 八百長 八百屋 大和  
弥生 浴衣 行方 寄席 若人

## ☆ 和語・漢語・外来語についての知識を深めよう

## 2 視野を広げて 言葉 1 和語・漢語・外来語

## ◎基礎知識の理解を深めよう。

## Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

- ① P 2 0 – 2 1 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

## Step 1

和語・漢語・外来語の基礎知識を確認する。

- ①資料 3 のプリントに取り組む。(プリントを紛失した場合は、ノートに記入する。)  
②教科書 P 6 3 – 6 4 を見ながら空欄を埋める。それぞれの「例」には、自分で考えたものを書き込んでよい。思い浮かばない場合は、教科書に載っている例を書き込む。

## Step 2

ワーク（「国語の学習 3」）の取り組めるところに取り組む。

- ① P 4 0 「和語・漢語・外来語」の内容については、すべて取り組めると思うので、しっかり記入しておく。  
②解答・解説を参考にし、○付けもやっておく。

☆和語・漢語・外来語についての知識を深めよう。

言葉1 和語・漢語・外来語

◎基礎知識の理解を深めよう。

和語

もともと日本で使われていた語（大和（やまと）言葉）。普通、（①）で書かれたり、漢字の（②）で表されたりする。自然物や人体、動作（動詞）や感覚・感情（形容詞）などを表す語、助詞・助動詞など、日本語の骨組みに当たる語の多くを占めている。

例

漢語

漢字の（③）が使われる語（③する語であれば漢語）。中国で作られて日本に入ってきた語と、日本で作られた語がある。（④）を表し、社会制度や専門的な知識を表す語も多く、ニュースや新聞などでよく使われる。

例

外来語

漢語以外で（⑤）から日本語に取り入れられた語。大部分は、明治以降に欧米から新しい事物とともに取り入れられた語で、現在も次々に流入している。なかには、「ジーパン」のように日本で作られた語（和製英語）もある。普通、（⑥）で書かれるが、「歌留多（かるた）」のように平仮名や漢字で書かれる場合もある。外国から入ってきた物や学問の用語、新しい感覚などを表すのに使われている。

例

混種語

和語・漢語・外来語が組み合わさってできた語。

例

☆ 和語・漢語・外来語についての知識を深めよう

## 2 視野を広げて 言葉 1 和語・漢語・外来語

◎和語・漢語・外来語の使い分けについて考えよう。

### Step 0

漢字のワーク（「漢字の学習 3」）に取り組む。

- ① P 2 2 - 2 3 に取り組む。書き順を意識し、丁寧に書く。

### Step 1

和語・漢語・外来語を使う場面を確認する。

- ①資料 4 のプリントの①に取り組む。(プリントを紛失した場合は、ノートに記入する。)
- ②「幸せ」・「幸福」・「ハッピー」を使うのはどのようなときか、振り返る。
- ③それぞれどのようなときに使うかを考え、プリントに記入する。

### Step 2

「サポート」(外来語)を言い換えた表現を考えてみる。

- ①資料 4 のプリントの②に取り組む。
- ②「きれいな街を作るには、地域のサポートが必要です。」という発言をする際に、A～Cそれぞれの場面によって、「サポート」よりも適切な表現があるか考えてみる。
- ③自分で考えた言葉を、プリントに記入する。

☆和語・漢語・外来語についての知識を深めよう。

言葉1 和語・漢語・外来語

◎和語・漢語・外来語の使い分けについて考えよう。

① 「幸せ」(和語)・「幸福」(漢語)・「ハッピー」(外来語)を使うのは、どのような時か考えてみよう。

※考える際のポイント どんな場面？ 誰に対して？ 話すとき？ 書くとき？ など  
もちろん、実際の会話例や、文例を書いても可  
私が「幸せ」を使うとき…

私が「幸福」を使うとき…

私が「ハッピー」を使うとき…

② 「きれいな街を作るには、地域のサポートが必要です。」(「サポート」は外来語)  
「サポート」という言葉を、以下の場面なら、どのような言葉にすれば良いか考えてみましょう。(そのままにするという意見も可とします。)

- A 友達と話す↓ ( )
- B 大勢の人の前で話す↓ ( )
- C 初めて会うお年寄りと話す↓ ( )